

令和 7年度

小規模多機能型居宅介護 「サービス評価」 公表資料

たきのほむ **福の神**

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年 12月15日 (福の神地域開放室)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 木地・室田・村田・岡山・瀬谷・島田・横山・堀下・柴田・丸山・山岸・平野・横田・林・竹ヶ端若狭 計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		10人	2人	4人	16人

前回の改善計画	情報収集の意識不足をなくすために、なぜ利用者の情報が必要なのか、また情報収集することが大事なのかを勉強会を開き、今一度学び意識の改革を行う。新人には、小規模多機能の説明や支援の内容の勉強会を必ず新人研修に取り入れる。
前回の改善計画に対する取組み結果	自己評価のポイントの説明や小規模多機能について勉強会を行き情報収集がなぜ必要かを学んだ新規の利用者様がどんな気持ちでここを利用しているのか、相手の身になって考えるように周知した

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1人	8人	5人	2人	16人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10人	3人	3人	16人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	3人	7人	2人	4人	16人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		8人	4人	4人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 利用者様の必要としている支援が出来ている。 ミーティングや申し送り、スタッフノートで情報の共有している。 利用者様に対しての声掛けやコミュニケーションを通して理解を深めている。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 新規の利用者様において、情報不足だと感じるがあった。 センター方式の準備ができていない。 学びの意識改革とまではいけていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 情報収集したことをスタッフ間で共有し共通理解できているか確認する センター方式を作成し深掘することに努める 新規の利用者様については情報を待っているのではなく各自が情報収集に努めセンター方式などを早く完成するようにする
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月15日（福の神 地域開放室）

2. 「～したい」の実現（自己実現の尊重）

メンバー 木地・室田・村田・岡山・瀬谷・島田・横山・堀下・柴田・丸山・山岸・平野・横田・林・竹ヶ端若狭 計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		6人	7人	3人	16人

前回の改善計画
 ミーティングでの考察は必ず共有する。
 本人の自己実現に向けて一人ひとりの目標を頭に入れながら関わるようにする。
 目標の共有の仕方を今一度考え話し合い、全員が共有できるシステムにする（スタッフ会議で検討する）

前回の改善計画に対する取組み結果
 ミーティングは毎日行う様に心がけていたつもりだか出来なかったこともあった
 利用者一人ひとりのファイルを作り共有できるように努めた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計（総人数）
①	「本人の目標（ゴール）」がわかっていますか？		3人	9人	4人	16人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか？		8人	5人	3人	16人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか？		6人	7人	3人	16人
④	実践した（かかわった）内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか？		9人	2人	5人	16人

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 日々の関わりの中で「～したい」を知ることが出来ている。
 利用者様が「～したい」と言われたときは、実行できるようにスタッフ間で話し合い対応している。
 言葉で伝えることが出来る利用者様は、外出支援が出来ている。

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 本人の目標を全員分把握できていない。
 一人一人とゆっくり関わる時間を確保出来ていない。
 知り得た情報が共有されていないことがある。

次回までの具体的な改善計画 (200字以内)
 「～したい」が分かった時点でミーティングを行い即日プランにつなげ実行する
 スタッフ一人ひとりが利用者様から気軽に「～したい」を言えるような関係づくりを心掛ける
 知り得た情報は必ず共有するために申し送りノートに記入したりやミーティングを行う

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月15日(福の神地域開放室)

3. 日常生活の支援

メンバー 木地・室田・村田・岡山・瀬谷・島田・横山・堀下・柴田・丸山・山岸・平野・横田・林・竹ヶ端若狭 計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	2人	9人	4人	16人

前回の改善計画
フェイスシートを活用し、生活の把握に努める。 担当職員を直ぐに決め、センター方式を作成する(期限を決める) 自ら知る努力をする。
前回の改善計画に対する取組み結果
アセスメントが遅くなる時もあった センター方式を作成する認識が薄れていく

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		2人	8人	6人	16人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1人	12人		3人	16人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		6人	6人	4人	16人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1人	10人	2人	3人	16人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	1人	9人	3人	3人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	利用者様の変化に気づき、スタッフ間で共有出来ている。変化に対応したケアを行っている。体調の変化や予測される経過を共有するようにしている。決められた内容の支援以外にも、適時支援を行えている。

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	以前の暮らしを十分に把握出来ていない。 声にならない声について考えられないことが多い。 新規利用者様の担当が決まっていないことが多い。

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
	新規の利用者については管理者、計画作成担当者より情報をあげる その後、担当者を決める(スタッフ会議等で) 以前の暮らしを把握しフェイスシートを早く作成する 言語化できない利用者様については本人の様子を伺ったり、家族からの情報など知り得た情報を共有する

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月15日（福の神地域開放室）

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 木地・室田・村田・岡山・瀬谷・島田・横山・堀下・柴田・丸山・山岸・平野・横田・林・竹ヶ端若狭 計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	前回の課題について取り組みましたか？		1人	10人	5人	16人

前回の改善計画	地域資源マップを作成し、情報収集しながらバージョンアップしていく。担当者は責任をもって情報収集を行う。これまで培ってこられたことや人生観、価値観を理解することに努める。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域資源マップは作成できなかった 新規の方々は管理者、計画作成から情報をあげるようにした

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計（総人数）
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？		6人	7人	3人	16人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？		8人	4人	4人	16人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？		6人	7人	3人	16人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？		1人	8人	7人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 家族や地域の方との関わりを大切にしている。地域の行事等に参加している。 関わりながらこれまでの生活スタイルや大切にしてきたことなど知ることが出来ている。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域資源の把握が出来ていない。 生活スタイル・人間関係を全て把握出来ていない。 自宅での過ごし方をしっかり意識して関わる事ができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域にはどんな資源があるか、皆で考える時間を設ける（勉強会） 家族や地域の方々とのふれあいを大切にする（地域の行事に参加）
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月15日(福の神地域開放室)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 木地・室田・村田・岡山・瀬谷・島田・横山・堀下・柴田・丸山・山岸・平野・横田・林・竹ヶ端若狭 計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		13人		3人	16人

前回の改善計画	ニーズに対応するために、普段から家族等の関わりを重視し、知り得た情報はスタッフノートやタブレットに落とすこと。 本人の強みを生かす。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者様にはほ一むの中だけで支援をするのではなく地域での生活(利用者が出来る事)を支援している

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		5人	9人	2人	16人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1人	10人	2人	3人	16人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1人	11人	1人	3人	16人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	1人	11人	1人	3人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 通い・訪問・宿泊は適切に提供されている。 気づいた変化を共有している。
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域資源を使えていない。 本人の思いに迅速に対応出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域資源の勉強会を行う 本人の思いに迅速に対応出来ていないについてはすぐいけない場合は説明し了解を得る。後日必ず支援する。決して放置することの無いようにする
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月15日(福の神地域開放室)

6. 連携・協働

メンバー 木地・室田・村田・岡山・瀬谷・島田・横山・堀下・柴田・丸山・山岸・平野・横田・林・竹ヶ端若狭 計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		7人	2人	7人	16人

前回の改善計画	面会や災害時も含め、いつでも来て頂けることを運営推進会議で各町会に伝える。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域で感染症が流行していても感染予防を行い面会して頂いた

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	その他のサービス機関(医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所)との会議を行っていますか?		1人	4人	11人	16人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		2人	2人	12人	16人
③	地域の各種機関・団体(自治会、町内会、婦人会、消防団等)の活動やイベントに参加していますか?	1人	3人	3人	9人	16人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2人	2人	12人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 地域の行事(ふれあい祭り、防災訓練、盆踊り等)に参加している。 訪問時、近所の方に挨拶し、コミュニケーションをとって困りごとがないか聞いている。 防災訓練は職員も参加している
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 地域の方が事業所に訪問する機会が少ない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 地域での会議はどうしても管理者に偏ってしまうので、今後は職員にも出してもらう 事業所に地域住民が参加して頂けるような取り組みを行う
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月8日()

7. 運営

メンバー 木地・室田・村田・岡山・瀬谷・島田・横山・堀下・柴田・丸山・山岸・平野・横田・林・竹ヶ端若狭 計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		9人	3人	4人	16人

前回の改善計画	地域の困りごとに気づく力、地域や事業所でどうしたら良いかを一緒に考える。 利用者・家族・地域からの声を聴いたらみんなで共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果	地域からの声は職員で共有できた 認知症の方が地域で暮らすことに地域の方々や市役所、警察等と会議を開き共有しながら利用者を生活を支えられるようにした

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		3人	9人	4人	16人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	7人	4人	4人	16人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1人	7人	4人	4人	16人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		6人	4人	6人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ご家族や地域の方から苦情や意見を聞いたら、上司に報告してスタッフ間で共有し改善している。 認知症の地域推進員としても地域に出向いている 地域の祭りに参加して神輿を担いだり上野町会の役員もしている 余喜、鹿島路、本江町に配食サービスを行っている
--------	--

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること スタッフ全員の理解不足
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 今までの関わりを続ける 小規模多機能の在り方を考える勉強会を行う。また、日頃を振り返りながら行う
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月8日()

8. 質を向上するための取組み

メンバー 木地・室田・村田・岡山・瀬谷・島田・横山・堀下・柴田・丸山・山岸・平野・横田・林・竹ヶ端若狭 計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		8人	4人	4人	16人

前回の改善計画	<p>新人教育の見直し研修をすること。 認知症の勉強会で学んだことを実践。 スタッフ一人ひとりが考えられるように確認しながらケアを行うこと。 顧客満足度を上げるために事業所、職員が一丸となり取り組む。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>新人研修を行った(法人として) 事例検討会の研修に参加(市の研修)</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	3人	6人	2人	5人	16人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1人	7人	1人	7人	16人
③	地域連絡会に参加していますか			1人	15人	16人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6人	6人	4人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<p>内部、外部の研修に参加している。 リスクマネジメントは常に考えるようにしている</p>	

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<p>勉強会で学んだことの実践 リスクマネジメントについて、情報共有や意識が足りていない</p>	

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<p>今期、まだリスクマネジメントの勉強会を行っていないため2~3月に行う 勉強会後は全スタッフが常にリスクマネジメントを考えながら仕事にあたるようにする パートの方々には別に勉強会を行う</p>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和7年12月8日()

9. 人権・プライバシー

メンバー 木地・室田・村田・岡山・瀬谷・島田・横山・堀下・柴田・丸山・山岸・平野・横田・林・竹ヶ端若狭 計16名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?		12人		4人	16人

前回の改善計画	利用者の訴えにすぐに対応できない場合は、理由を説明し、理解して頂き後に対応すること。 成年後見制度の勉強会を開くこと。 必ず、年に1回は勉強会を取り入れることを徹底する。
前回の改善計画に対する取組み結果	虐待や身体拘束については委員会で目標を立てて利用者対応している 成年後見制度の勉強会は行っている

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	6人	9人	1人		16人
②	虐待は行われていない	9人	7人		0人	16人
③	プライバシーが守られている	4人	10人	1人	1人	16人
④	必要な方に成年後見制度を活用している		5人	1人	9人	16人
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2人	13人		1人	16人

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること 身体拘束・虐待研修会は定期的に行われている。 身体拘束の意識が高まっていて、スピーチロックも減っている。 利用者一人ひとりのプライバシーについてはパットを使用している方、バルーンを装着している方など 取り扱いに気を付けている
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること 成年後見制度の理解不足 プライバシーへの配慮が足りないことがある。 トイレ誘導の際の声掛けが十分に配慮されていない時がある
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) 身体拘束や虐待の研修、成年後見制度は外部の研修を利用する また、研修を受けた者については勉強会で講師となり内部研修を行う 身体拘束や虐待の取り組みについては今後も目標を立てて取り組む
---------------	---

A. 事業所自己評価の確認

No.	項目	はい	いいえ	わからない
1	少なくとも常勤のスタッフが全員で事業所自己評価に取り組んでいることが確認できましたか？	6	0	1
2	事業所自己評価を作成する際、事業所の常勤スタッフ全員の意見が反映されていることが確認できましたか？ ※ただし、ミーティングの場面では常勤職員の 2/3 以上の参加が望ましい	6	0	1
3	前回の改善計画に対して、スタッフ全員で具体的な取組みが行われていましたか？	5	0	2
4	今回の改善の必要な点が明らかになり、その改善計画が具体的に立てられていますか？	6	0	1

【上記4つのチェック項目に関する意見】

※結果ではなく、事業所自己評価に取り組んだ経過（姿勢）に対する意見

説明を行っても毎回わかりにくいとの声がある
メンバーの方々は欠席することもあるので把握しにくい

【前回の改善計画に対して意見】

※前回の改善計画に対しての取組み結果に対する意見

新人教育時や勉強会を行っていることがわかった

【今回の9つのテーマごとに記入された改善計画に対する意見】

※今回の改善計画が具体的かつ達成可能な計画になっているかについての意見

【「自己評価」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

事業所での取り組んだことを会議で発信する
日頃の取組みを詳しく発信する

B. 事業所のしつらえ・環境

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	0	0
1	家族や地域の方が、事業所に入りやすい工夫がなされていますか？	5	1	1
2	事業所は、居心地がいい空間になっていますか？	5		2
3	事業所内・外に、不快な音や臭い等はないですか？	6		1
4	日中、事業所の門や玄関にカギはかかっていますか？	6		1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

事業所の中の様子はいつでもは入って頂けるようにする

【前回の改善計画】

コロナ対策で会議は近くの会館を利用していたため中の様子が分かりにくかったので福の神で行う

交流の機会を増やす

【「事業所のしつらえ・環境」をテーマにした自由意見】

事業所を知ってもらうことが大事

【今回の改善計画】※後日記入

最近では運営推進会議の場所を福の神で行っているためいつでも気軽に入ってもらえる

昨年同様四柳、大町のお祭りやおいで祭りには事業所を開放しいつでも入って頂ける工夫をする

催し物をして交流の機会を増やす

C. 事業所と地域のかかわり

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	7	0	0
1	職員はあいさつできていますか？	7	0	0
2	事業所は、地域の方に知られていますか？	5	0	2
3	何か困りごとや相談ごとがあった場合に、事業所は相談しやすい場所になっていますか？	6	0	1
4	事業所のスタッフは、地域の行事やイベントに参加していますか？	7	0	0

【上記5つのチェック項目に関する意見】

福の神通信等で知られていると思うとの声を頂きました
余喜の盆踊りや左義長、河川愛護の作業など参加している

【前回の改善計画】

地域の方々が大事にしている伝統や文化と一緒に繋げていく
利用者とともに参加する

【「事業所と地域のかかわり」をテーマにした自由意見】

認知症の相談はしやすいと感じている

【改善計画】※後日記入

これからも地域に出向き馴染みの関係づくりを行い、いつでも相談できるようにする
福の神通信を工夫する
町の行事には必ず参加する

D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	1
1	利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？	6	0	1
2	利用者本人が住んでいる地域の方を交えた会議が行われていますか？	5	0	2
3	事業所の利用者は、地域の行事やイベントに参加していますか？	6	0	1
4	利用者以外のご近所の心配な方に、事業所はかかわっていますか？	6	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

必要に応じ会議していることも知っている
利用者さんが行事にもしていることも知っている

【前回の改善計画】

利用者の各町の民生委員と情報共有させて頂くため密に連絡をとる
また、困ったことがあれば話し合いの場を設ける（地域と連携）
生活協議体も引き続き参加する

【「地域に出向いて本人の暮らしを支えている」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

地域の民生委員の方々に心配な方がおられないか聞き、心配な方がおられる際はいつでも相談にのることを話す

事業所の利用者様には満遍なく対応する

E. 運営推進会議を活かした取組み

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	1
1	運営推進会議では、事業所の取組みが解かりやすく説明されていますか？	6	0	1
2	運営推進会議では、地域の心配の方等の事例検討が行われていますか？	5	0	2
3	運営推進会議では、地域での取組みを一緒に取組もうとしていますか？	6	0	1
4	運営推進会議で出た意見を、改善につなげていますか？	5	0	2

【上記5つのチェック項目に関する意見】

会議の場でメンバーの方から折角意見を頂いたのだから是非取り組んでほしい
(野菜作りなど)

【前回の改善計画】

地域の困ったことがないか情報を共有し、少しでも町の一員として地域と協働し社会貢献する

【「運営推進会議を活かした取組み」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

意見が出た際はまずは一緒に取り組む
やってどうだったかを振り返り次の改善につなげる
事例検討した際、意見を取り入れる

F. 事業所の防災・災害対策

No.	項目	はい	いいえ	わからない
0	前回の改善計画について取組んでいましたか？	6	0	1
1	事業所の防災計画（火災・風水害・地震等）を知っていますか？	5	0	2
2	事業所は、地域の防災訓練に参加・参画していますか？	6	0	1
3	事業所の防災訓練に参加したことがありますか？	4	2	1
4	災害時、事業所は頼りになりそうですか？	6	0	1

【上記5つのチェック項目に関する意見】

メンバーが途中交代したため計画書を見ることが出来なかった
一緒に訓練した

【前回の改善計画】

各町会と連携し防災訓練を行う
防災計画を観て頂く
独自の防災訓練を行ったときは報告する

【「事業所の防災・災害対策」をテーマにした自由意見】

【改善計画】※後日記入

今後も各町会と連携する
お互い助け合えるように関係性を築く

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人弘和会	代表者	理事長 松本 仁	法人・事業所の特徴	1.地域に愛される事業所になれるよう地域のイベントに積極的に参加しています。 2.介護が必要な方が安心して利用できる様オーダーメイドの介護を提供しています。 3.認知症と言う病気の理解を深める為、外部の研修に出たり、内部で勉強会をしています。 4.認知症キャラバンメイトの資格を持った職員は積極的に地域や協力機関に出向き認知症のケアについての研修の講師をさせていただきます。 5.認知症を患っても、支えられる側ではなく地域の中で役割を持って生き生きできる時間を大切にします。
事業所名	たきの一ほ一む福の神	管理者	北出 由美子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	2人	4人	人	1人	1人	人	4人	人	12人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	9項目について新人研修時も含めて勉強会を行う 年度中に何度か振り返る 勉強会の様子など会議で紹介する	新人教育時や勉強会を行っていることがわかった	メンバーの方は欠席することもあるのですべてを把握することが難しい 毎回わかりにくいとの声が上がります	事業所での取り組んだ事を会議で発信する どんなことを行っているのか勉強会の内容もお伝えする
B. 事業所のしつらえ・環境	今までコロナ対策として近くの会館にて会議を行っていたが従来どおり福の神で行う 交流する機会を増やす	事業所にはいつでも入って頂けるようにした	事業所を知ってもらうことが大事	会議は福の神で行いいつでも見学して頂く 祭りやおいで祭りなど招待して気軽に入って頂けるようにする 催し物をして交流の機会を増やす
C. 事業所と地域のかかわり	地域の方々が大事にしている伝統や文化と一緒に繋げていく 利用者とともに参加する	福の神通信で知られている余喜の盆踊りや左義長、河川愛護の作業など参加している	認知症の相談はしやすいと感じている	これからも地域に出向き馴染みの関係づくりを行いつつでも気軽に相談して頂けるようにする 福の神の通信を工夫し関わっていることを発信する
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	利用者の各町の民生委員と情報共有させて頂くため密に連絡をとる 困ったことがあれば話し合える場を設ける	利用者さんの事で地域からの情報をもとに情報を共有するために会議を行っている	必要に応じて会議を行っている 利用者さんが行事に参加していることも知っている	地域の民生委員の方々に心配な方がおられないか聞き、心配な方がおられる場合はいつでも相談できるようにする 利用者様には皆さんが外出など出来るように取り組む

<p>E. 運営推進会議を活かした取組み</p>	<p>地域に困ったことがないか情報を共有し、少しでも町の一員として地域と協働し社会貢献する</p>	<p>取組みはDVD等で紹介したパワーポイントを用いて発表している</p>	<p>会議の場でメンバーの方からせつかく意見を頂いたのだから是非取り組んでほしい(野菜作りなど) 配食弁当は助かっている 職員がいないことはどこの事業所でも同じだとは思いますがこの事業所を知ってもらおうをもっと工夫する この事業所はいいと思ってもらえるような取組みを発信する そして働きたいなと思ってもらえる事業所を作って欲しい 負けずに頑張りたい</p>	<p>意見が出た際はまずは一緒に取組みやってみようだったかを振り返り次の改善につなげる 事例検討した際、意見を取り入れる</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>各町会と連携し防災訓練を行う 防災計画を観て頂く 独自の防災訓練を行った際は報告する</p>	<p>出来る限り訓練には参加させて頂いた 原子力、地域の防災訓練</p>	<p>メンバーが途中で交代したため防災計画を見ることが出来なかった 一緒に訓練に参加した</p>	<p>今後も各町会と連携を密にする 地域と事業所がお互い助け合えるように関係性を築く</p>